

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">令和6年 4月 10日</p> <p>提出者</p> <p>住所 大阪府大阪市中央区北浜2丁目1-26</p> <p>氏名 株式会社増岡組大阪支店</p> <p style="text-align: center;">大阪支店長 前田 千代春</p> <p style="text-align: center;">（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）</p> <p>電話番号 06-6202-3264</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	株式会社増岡組大阪支店
事業場の所在地	京都市管轄事業所
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	¥1,980,000,000
③従業員数	7人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	解体工事作業所内でコンクリート殻・アスファルトガラ・木くず・石綿含有建設廃棄物・建設混合廃棄物を適正に分別する。次に適正な収集運搬業者に運搬させ、適正で優良な処分業者により処理する。コンクリート・アスファルト・木くずはリサイクルする。

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図) 別紙の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

令和6年 4月 10日

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	木くず
	排出量	26450 t	188 t
	(これまでに実施した取組) コンクリート・アスファルト・木くず等分別回収に努め、リサイクル商品にする。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	木くず
	排出量	4030 t	30 t
	(今後実施する予定の取組) 今まで通り分別回収を徹底しリサイクル商品に活用する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 令和5年4月1日～令和6年3月31日
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引き続き分別回収する。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

廃プラスチック類	廃石膏ボード	管理型建設混合廃棄物	その他がれき類
50 t	232 t	36 t	496 t

②計画

廃プラスチック類	廃石膏ボード	管理型建設混合廃棄物	その他がれき
0 t	0 t	20 t	t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

廃石綿等	廃プラスチック類	石綿含有がれき類	アスファルト殻
t	50 t	8 t	360 t

②計画

廃石綿等	廃プラスチック類	石綿含有がれき類	アスファルト殻
0 t	0 t	0 t	30 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	令和6年 4月 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も特になし		

(第3面-2)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

廃プラスチック類	廃石膏ボード	管理型建設混合廃棄物	石綿含有廃プラ類
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

廃プラスチック類	廃石膏ボード	管理型建設混合廃棄物	その他がれき
0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

廃プラスチック類	廃石膏ボード	管理型建設混合廃棄物	石綿含有廃プラ類
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

廃プラスチック類	廃石膏ボード	管理型建設混合廃棄物	その他がれき
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

(第3面-3)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

廃石綿等	水銀使用製品産業廃棄物	石綿含有がれき類	
0 t	0 t	0 t	t

②計画

廃石綿等	水銀使用製品産業廃棄物	石綿含有がれき類	
0 t	0 t	0 t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

廃石綿等	水銀使用製品産業廃棄物	石綿含有がれき類	
0 t	0 t	0 t	t
0 t	0 t	0 t	t

②計画

廃石綿等	水銀使用製品産業廃棄物	石綿含有がれき類	
0 t	0 t	0 t	t
0 t	0 t	0 t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	木くず
	全処理委託量	26450 t	188 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	26450 t	188 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 優良業者に依頼し、定期的に処理状況を確認する		

(第4面-2)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

廃プラスチック類	廃石膏ボード	管理型建設混合廃棄物	石綿含有廃プラ類
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

廃プラスチック類	廃石膏ボード	管理型建設混合廃棄物	その他がれき
0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

廃プラスチック類	廃石膏ボード	管理型建設混合廃棄物	石綿含有廃プラ類
50 t	232 t	36 t	8 t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

(第4面-3)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

廃石綿等	使用製品産業廃棄物	石綿含有がれき類	
0 t	0 t	0 t	t

②計画

廃石綿等	水銀使用製品産業廃棄物	石綿含有がれき類	
0 t	0 t	0 t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

廃石綿等	水銀使用製品産業廃棄物	石綿含有がれき類	
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	木くず
	全処理委託量	4030 t	30 t
	優良認定処理業者への処理委託量	令和6年 4月 10日 t	
	再生利用業者への処理委託量	4030 t	30 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組) 優良処理業者に依頼し、引き続き定期的に処理状況を確認する。			
※事務処理欄			

②計画

廃プラスチック類	廃石膏ボード	管理型建設混合廃棄物	その他がれき
0 t	0 t	20 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

廃石綿等	水銀使用製品産業廃棄物	石綿含有がれき類	アスファルト殻
0 t	0 t	0 t	30 t
t	t	t	t
t	t	t	30 t
t	t	t	t
t	t	t	t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行 令和6年 4月 10日
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



前 年 度 【 令 和 5 年 度 】 実 績

令和6年 4月 10日

排 出 者						
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪市中央区北浜2丁目1-20	株式会社増岡組大阪支店	建築工事部	佐久間幸雄	06-6202-9284	06-6202-9880	SAKUMA-YUKIO@MASUOKA

産業廃棄物の種類	計 画 の 実 施 状 況											②+⑧ 自ら再生利用 を行った量(t)	③+⑨ 自ら埋立処分又は海 洋投入処分を行った量(t)						
	コード	名 称	①排出量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自ら直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量(t)	④自ら中間処理した 量 (t)	⑤④のうち 熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の残さ量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理 した後再生利用 した量 (t)	⑨自ら中間処理した 後埋立処分又は海 洋投入処分した量(t)			⑩直接及び自ら 自己処理した後の 処理委託量 (t)	委託先による区分 (⑩=①-②-③-④+⑥-⑧-⑨+⑩+⑪+⑫+⑬)				
															⑪再生利用業者への 処理委託量(t)	⑫熱回収認定業者 への処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者以外の 熱回収業者への処理委託量(t)	⑭その他の中間処理 委託量(t)	⑮埋立処分委託量(t)
コード 参照	産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理せず直接自ら再生利用した量	①の量のうち、中間処理せず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理前の量	④の量のうち熱回収を行った量	自ら中間処理を行った後の量	④の量から⑥の量を差し引いた量	⑥の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量	⑥の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	⑩の量のうち、処理業者への再生利用委託量(⑬、⑭を除く)	⑩の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への積却処理委託量	⑩の量のうち、委託して破砕等の中間処理した量(⑮～⑰を除く)	⑩の量のうち、直接委託して埋立て最終処分した量	⑩の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	②の量と⑧の量を合計したもの(自動計算)	③の量と⑨の量を合計したもの(自動計算)	
1	コンクリート敷	26,450								26,450	26,450						0	0	
2	木くず	188								188	188						0	0	
3	廃プラスチック	50								50					50		0	0	
4	管理型建設混合廃棄物	36								36					36		0	0	
5	アスファルト敷	360								360	360						0	0	
6	石綿含有産業廃棄物	8								8					8		0	0	
7	その他がれき類	496								496					496		0	0	
8	廃石膏ボード	232								232					232		0	0	
9																	0	0	
10																	0	0	
11																	0	0	
12																	0	0	
13																	0	0	
14																	0	0	
15																	0	0	
16																	0	0	
17																	0	0	
18																	0	0	
19																	0	0	
20																	0	0	
	合計	27,820	0	0	0	0	0	0	0	27,820	26,898	0	0	0	822	0	0	0	

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

今年度【令和5年度】目標

00000000 4 02 13104

都 州 者						
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総合的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総合的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当部署の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス

産業廃棄物の種類	計 画 の 実 施 状 況																
	①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量(α)	④自ら中間処理した量	⑤④のうち熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑨自ら中間処理した後立入処分又は海洋投入処分した量(β)	⑩自ら中間処理した後の処理委託量	委託先による処分				⑪優良認定処理業者への処理委託量(γ)	⑫自ら再生利用を行った量(δ)	⑬③と⑬の量を合計したものを投入処分を行った量(ε)
											⑭再生利用業者への処理委託量(α)	⑮熱回収認定業者への処理委託量(β)	⑯熱回収認定業者以外の熱回収業者への処理委託量(γ)	⑰その他の中間処理委託量(δ)			
コード参照	発生した産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量	①の量のうち、中間処理をせず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理前の量	④の量のうち熱回収を行った量	⑥の量から⑦の量を差し引いた量	⑧の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量	⑧の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	⑩の量のうち、処理業者への再生利用委託量(⑩、⑪を除く)	⑫の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量	⑬の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	⑭の量のうち、委託先として稼働等の中間処理した量(⑭→⑰を除く)	⑮の量のうち、直接認定処理業者への委託処理量	⑯の量と⑰の量を合計した量(α)	⑱の量と⑲の量を合計したものを投入処分を行った量(ε)	
1	コンクリート敷	4,030							4,030						0	0	
2	木くず	30							30						0	0	
3	アスファルト敷	30							30				420		0	0	
4	管型建設混合廃棄物	20							20						0	0	
5															0	0	
6															0	0	
7															0	0	
8															0	0	
9															0	0	
10															0	0	
11															0	0	
12															0	0	
13															0	0	
14															0	0	
15															0	0	
16															0	0	
17															0	0	
18															0	0	
19															0	0	
20															0	0	
合計		4,110	0	0	0	0	0	0	0	4,110	0	0	0	420	0	0	

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

